



平成26年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイフイスジャパン
コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 野口 祥吾

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|------|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第1四半期 | 890 | 3.7 | 82 | 8.2 | 82 | 15.3 | 55 | 17.7 |
| 25年12月期第1四半期 | 859 | 42.9 | 89 | 129.0 | 97 | 123.8 | 67 | 66.4 |

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 52百万円 (26.9%) 25年12月期第1四半期 71百万円 (72.0%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期第1四半期 | 5.76 | 5.75 |
| 25年12月期第1四半期 | 7.01 | 7.00 |

(注) 当社は、平成25年5月16日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年12月期第1四半期 | 2,332 | 1,889 | 81.0 | 195.69 |
| 25年12月期 | 2,471 | 1,932 | 76.1 | 194.63 |

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,889百万円 25年12月期 1,879百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期 | | 0.00 | | 4.50 | 4.50 |
| 26年12月期 | | | | | |
| 26年12月期(予想) | | 0.00 | | 4.50 | 4.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,820 | 8.2 | 130 | 10.9 | 130 | 18.1 | 85 | 22.0 | 8.80 |
| 通期 | 4,000 | 15.8 | 420 | 32.0 | 420 | 24.5 | 275 | 24.7 | 28.48 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-----------|--------------|---------|--------------|
| 26年12月期1Q | 10,238,000 株 | 25年12月期 | 10,238,000 株 |
|-----------|--------------|---------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 26年12月期1Q | 582,237 株 | 25年12月期 | 582,237 株 |
|-----------|-----------|---------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 26年12月期1Q | 9,655,763 株 | 25年12月期1Q | 9,638,200 株 |
|-----------|-------------|-----------|-------------|

(注)当社は、平成25年5月16日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和策等の影響による株価上昇や円安進行などにより消費者心理や企業マインドが改善したことを受け、景気は穏やかな回復が続いております。しかしながら、新興国経済の成長鈍化や東欧地域での政情不安など、日本経済の先行きに対する不安要素も強く、楽観視出来ない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、金融市場が昨年引き続き好調を維持していることを受けて、投資信託に関連する印刷や配送業務、投資情報関連事業などが順調に業績を伸ばしてきております。また、大手証券会社向けASPサービスやオンライン証券を通じた個人投資家向けサービスも同様の理由により着実に業績を伸ばしております。一方で、企業規模の拡大と業績の安定を目的とした他業種へのサービス展開を図り、既存事業以外の複数の事業へ投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は890百万円(前年同期比31百万円増、3.7%増)、営業利益は82百万円(前年同期比7百万円減、8.2%減)となりました。また、経常利益は82百万円(前年同期比14百万円減、15.3%減)、四半期純利益は55百万円(前年同期比11百万円減、17.7%減)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

昨年は大手証券会社向けASPサービスの大口納品があり、当期売上高は前期に比べ減少に転じておりますが、『IFIS Research Manager』(アイフィス・リサーチ・マネージャー)や『IFIS Consensus Manager』(アイフィス・コンセンサス・マネージャー)、資本市場関係者向けリアルタイムニュースなどの主力商品は全般に渡って堅実に業績を伸ばしており、証券会社向けASPサービスにおいても昨年の大口納品の影響を除外すれば、着実に受注量を伸ばしてきております。

その結果、売上高は145百万円(前年同期比37百万円減、20.7%減)、営業利益は67百万円(前年同期比29百万円減、30.6%減)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

株式市場の活況に伴い、昨年まで続いておりました証券調査レポート・IR関連印刷物の受注量減少傾向が下げ止まりを見せており、関連する配送関連事業が増加傾向に転じるなど明るい兆しが見えてきております。また、E-mail・Fax同報配信サービスなどの高付加価値商材は順調に業績を伸ばしてきております。一方で、昨年まで順調に業績を伸ばしてきた翻訳関連事業が、大口顧客の需要減少の影響により減収となっております。

その結果、売上高は218百万円(前年同期比2百万円増、1.4%増)、営業利益は20百万円(前年同期比12百万円減、38.7%減)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場は、昨年の活況が今年に入っても継続しており、投資信託のファンド数及び純資産総額ともに増加傾向が続いております。これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量が、昨年からの増加傾向を継続しており着実に業績を伸ばしております。また、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービス、運用報告書などの新たな商材も、好調を維持しております。

その結果、売上高は353百万円(前年同期比51百万円増、17.0%増)、営業利益は87百万円(前年同期比15百万円増、21.9%増)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である証券・金融業向けシステムソリューションサービスが堅調に推移するとともに、マイグレーションに関連する開発及びライセンス販売が順調に伸びております。

その結果、売上高は170百万円(前年同期比12百万円増、8.0%増)、営業利益は8百万円(前年同期は営業損失14百万円)となりました。

<その他事業>

「データ化サービス」や「検索エンジンサービス」などの提供を開始し、より利便性の高いサービス内容の追求に従事しております。

その結果、売上高は2百万円、営業損失は6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、前連結会計年度末に比べ138百万円減少し、2,332百万円となりました。

流動資産は114百万円減少し、1,890百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が29百万円、受取手形及び売掛金が77百万円減少したことによるものであります。

固定資産は23百万円減少し、442百万円となりました。主な要因は、減価償却などにより無形固定資産が7百万円減少したこと、事務所移転による保証金返金などにより投資その他の資産が15百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、443百万円となりました。

流動負債は94百万円減少し、427百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が60百万円、買掛金が23百万円減少したことによるものであります。

固定負債は0百万円減少し、16百万円となりました。主な要因は、退職給付引当金が0百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、1,889百万円となりました。主な要因は、四半期純利益55百万円の計上と、剰余金の配当43百万円及び少数株主持分53百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月23日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,513,551 | 1,483,905 |
| 受取手形及び売掛金 | 397,926 | 320,912 |
| 仕掛品 | 23,537 | 18,669 |
| その他 | 71,063 | 67,614 |
| 貸倒引当金 | △1,262 | △573 |
| 流動資産合計 | 2,004,816 | 1,890,527 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 44,580 | 43,030 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 2,922 |
| ソフトウェア | 145,566 | 134,596 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 1,000 |
| その他 | 1,469 | 1,469 |
| 無形固定資産合計 | 147,036 | 139,988 |
| 投資その他の資産 | 274,681 | 259,392 |
| 固定資産合計 | 466,298 | 442,411 |
| 資産合計 | 2,471,114 | 2,332,939 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 181,293 | 157,407 |
| 未払法人税等 | 89,696 | 28,793 |
| 賞与引当金 | 11,742 | 35,787 |
| その他 | 239,219 | 205,406 |
| 流動負債合計 | 521,951 | 427,395 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 14,435 | 13,935 |
| その他 | 2,007 | 2,098 |
| 固定負債合計 | 16,442 | 16,034 |
| 負債合計 | 538,394 | 443,429 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 382,010 | 382,010 |
| 資本剰余金 | 437,810 | 437,810 |
| 利益剰余金 | 1,125,074 | 1,137,231 |
| 自己株式 | △77,928 | △77,928 |
| 株主資本合計 | 1,866,965 | 1,879,122 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 84 | 87 |
| 為替換算調整勘定 | 12,299 | 10,299 |
| その他の包括利益累計額合計 | 12,383 | 10,386 |
| 少数株主持分 | 53,372 | — |
| 純資産合計 | 1,932,720 | 1,889,509 |
| 負債純資産合計 | 2,471,114 | 2,332,939 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年3月31日） | 当第1四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年3月31日） |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 859,193 | 890,975 |
| 売上原価 | 531,734 | 575,078 |
| 売上総利益 | 327,458 | 315,897 |
| 販売費及び一般管理費 | 238,079 | 233,822 |
| 営業利益 | 89,379 | 82,074 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 169 | 886 |
| 受取配当金 | 217 | 189 |
| 持分法による投資利益 | 2,639 | 692 |
| 為替差益 | 880 | — |
| 保険解約返戻金 | 4,144 | — |
| その他 | 188 | 95 |
| 営業外収益合計 | 8,239 | 1,862 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | — | 1,242 |
| その他 | 1 | 4 |
| 営業外費用合計 | 1 | 1,246 |
| 経常利益 | 97,617 | 82,690 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 97,617 | 82,690 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 43,137 | 27,393 |
| 法人税等調整額 | △13,624 | 782 |
| 法人税等合計 | 29,512 | 28,176 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 68,104 | 54,514 |
| 少数株主利益又は少数株主損失（△） | 517 | △1,094 |
| 四半期純利益 | 67,587 | 55,608 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 68,104 | 54,514 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 653 | 2 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 3,118 | △1,999 |
| その他の包括利益合計 | 3,772 | △1,996 |
| 四半期包括利益 | 71,877 | 52,517 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 71,360 | 53,611 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 517 | △1,094 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年1月1日至平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|---------------------|-------------------------|----------------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 投資情報事業 | ドキュメント ソリューション事業 | ファンドデ ィスクロー ジャー事業 | I Tソリュ ーション事 業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 183,440 | 215,920 | 302,104 | 157,728 | 859,193 | — | 859,193 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 5,235 | — | 2,266 | 7,502 | △7,502 | — |
| 計 | 183,440 | 221,155 | 302,104 | 159,994 | 866,695 | △7,502 | 859,193 |
| セグメント利益又は 損失 (△) | 96,800 | 32,627 | 71,714 | △14,776 | 186,365 | △96,986 | 89,379 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△96,986千円には、セグメント間取引消去△468千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△96,518千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 3 | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 投資情報事業 | ドキュメン トソリュ ーション事業 | ファンドデ ィスクロー ジャー事業 | I Tソリュ ーション事 業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 145,526 | 218,871 | 353,347 | 170,383 | 2,847 | 890,975 | — | 890,975 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 5,787 | — | 5,510 | — | 11,297 | △11,297 | — |
| 計 | 145,526 | 224,658 | 353,347 | 175,893 | 2,847 | 902,272 | △11,297 | 890,975 |
| セグメント利益又は 損失 (△) | 67,145 | 20,000 | 87,437 | 8,189 | △6,640 | 176,133 | △94,058 | 82,074 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△94,058千円には、セグメント間取引消去△660千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△93,397千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データベース等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。